



# 「志」大野中だより

令和6年1月17日(水)

文責:校長 瀬口 勇治

## 「ともに」

3学期が始まり、1週間あまりが経過しました。始業式は、全校生徒でそろって体育館で実施しました。冬休み期間中に大きな事件・事故が起きることなく3学期を迎えることができたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

元日の能登半島地震では、大きな被害が出ており、亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。そして、被災地域の日も早い復旧・復興と被災された皆様の安全・安心な暮らしが取り戻せますよう心から願うばかりです。

被災地では、多くの方が避難生活を余儀なくされ、大変な思いで生活されている状況が続いております。そのような中、学校再開のめどがたっていない輪島市は、市内3中学校に通う生徒(集団避難を希望し、保護者の同意が得られたおよそ250人)の集団避難を検討していることを発表しました。災害時に親元を離れ、中学生だけで集団避難するのは、異例のことだということです。避難先は、輪島市から約100km南にある白山市の体験教育施設で、そこで教師と集団生活を行いながら、授業を受けられるようにするといいい、期間は2カ月ほどを想定しているということです。

被災地の状況を聞くにつれ、当たり前のように始業式を迎え、日常の学校生活を過ごせることに感謝するとともに、友だちと一緒に過ごすことが当たり前と思うのではなく、友だちと遊んだり学習できたりすることに感謝するとともに、お互いを思いやり、助け合うことの大切さを感じてほしいと思っています。

今日、1月17日は、阪神淡路大震災から29年となります。厳しい寒さの中、追悼のつどいが行われている神戸市中央区の東遊園地には、早朝から多くの方が会場に訪れ、地震が発生した午前5時46分に鎮魂の祈りが捧げられている様子がTVで放送されていました。今年、灯籠でかかれたのは「ともに」という文字でした。若い世代とともに震災の記憶を継承するという決意と、能登半島地震の被災者に寄り添うという思いが込められて「ともに」という文字がかかれたとのことでした。

私たちも、決して人ごとと捉えるのではなく、地震などの災害に備える防災の意識や被災地への支援の意識、そして、当たり前で友だち、家族と過ごせることに感謝の気持ちを持ってほしいと思っています。

### 1年生、2年生キャリア教育の取組

2年生は、1月16日(木)に、外部から講師をお招きしてマナー講座を受講しました。社会人としてのマナーや心構えについて意識するとともに、大切さを感じたことと思います。来週実施予定の職場体験学習で、学んだことを実践できるように意識してほしいと思います

また、1年生は、1月23日(火)に職業講話の授業を行います。様々な業種の方から話を聞くことで、今まで知らなかった職業について興味・関心をもつとともに、将来の目標をもつことに繋がっていくことを期待しています。



### 新入生説明会を実施しました

1月12日(金)に新入生説明会を実施しました。大野小学校、大野北小学校の6年生と保護者の方を迎えて、中学校の生活や入学の準備等について説明を行いました。小学生が目を輝かせながら、一生懸命に話を聞いている姿が印象的でした。4月が待ち遠しいですね。



### 今後の主な行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
1月19日(金)	私立高校専願入試	1月24、25日	公立高校特色化選抜
1月23、24日	2年生職場体験学習	2月2日(金)	私立高校前期入試
1月23日(火)	1年生職業講話	2月2日(金)	1、2年生学力診断テスト

